

2024(令和 6)年度 自己評価の公表

社会福祉法人さつき会

たじりこども園

○4段階で評価をおこなった。

A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

○評価項目の数字は人数である。

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

	設 問	A	B	C	D
001	幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解していますか？	1	14	2	
002	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」を読んだことがありますか？	6	9	2	
003	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を養う重要なものであることを理解していますか？	10	7		
004	保育の原理である、人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう保育の計画や実践に努めていますか？	3	12	2	

【評価】教育及び保育の基本と目標については、ほとんどの職員がその重要性を理解し、日々の実践に努めているという結果であった。日々変化する法令等を認識できる機会を設けながら充実させていくことを目標にしていく。基本的な知識の認識を改める必要もあるという結果になっている。

2. 特に配慮をすべき事項

(1) 教育及び保育の配慮

	設 問	A	B	C	D
005	登園してくる子どもに、あいさつをしながら、視診・触診をして健康状態を確認していますか？	8	9		
006	子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか？	2	15		
007	基本的生活習慣に基づき、あいさつ等、日常生活に必要な言葉を使っていますか？	9	8		

【評価】ほとんどの職員が「ほぼできている」という回答であった。引き続き一人ひとりの園児に細やかな配慮を行い、日々の小さな変化や成長に気づけるように誠実に対応をしていく。適切な保育の向上に努める。

(2) 健康支援

	設 問	A	B	C	D
008	感染症が発生した際は、口頭及び文書や掲示板等で保護者に伝えて	7	6	4	

	いますか？				
009	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしていますか？	9	6	2	
010	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身につけるよう、保護者との連携に努めていますか？	4	10	3	
011	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか？	11	3	3	
012	あなたは、不審者が園内に侵入した際、どのように対応するかを理解していますか？	5	10	2	

【評価】健康支援では「あまりできていない」の回答も少数あった。訓練に関してはどの職員でも対応できるように、知識を身に付け共有しながら形のみにならないようにしたい。感染症が流行しだした時の対応は以前に比べ職員の意識は上がってきているという評価になった。

(3) 食育

	設 問	A	B	C	D
013	子どもの体調に応じ、食事の量を調整したり、食べ物を残したり偏食をするときは過度に叱らないように心がけていますか？	4	10	3	
014	その日の給食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか？	11	4	2	
015	食べることの意味や命について考える機会をつくっているか？（人の命、動物の命、植物の命）	2	8	7	
016	よく噛んで食べることが食物の消化・吸収をよくすることを理解できるように伝えているか？	6	8	3	
017	食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携して除去食を取り入れるなどの配慮をしていますか？	10	5	2	
018	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成していますか？		6	11	

【評価】NO.015 は、園全体での食育のありかたを学び改める必要があると感じる。題材探しをし、研修等で得た知識を共有することで職員の意識を高められるようにまた 1 年取り組んでいく。併せて、年齢に応じた食育計画も見直し作成し、実践しやすくしていきたい。

(4) 特別支援教育・障がい児保育

	設 問	A	B	C	D
019	障がいの種類やその特質を理解することができているか？	2	12	3	
020	障がいのある子どもの保育について、園で定期的に話し合う機会を持ったり、子どもに合わせた個別指導経過記録・支援計画を立てていますか？	1	13	3	
021	障がいのない子どもも障がいのある子どもも、お互いの良さを感じるように保育の配慮をしていますか？	1	10	6	
022	療育機関・医療機関等の専門機関から、子どもの障がいについて必	3	11	3	

	要に応じて助言を受けていますか？				
023	障がいのある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるように努めていますか？	3	13	1	

【評価】 個々の特性を理解しながら日々職員は保育に向き合い園児一人ひとりが安全に楽しく過ごせるよう努力をしている。その中でも自信を持ってない職員もいることがわかる評価となった。園全体の課題として、今後も療育機関と保護者との連携を怠らず、職員間の共有と協力を行なえるように職員会議等でも話し合いを頻回に設けていきたい。

第2章 子どもの発達

	設 問	A	B	C	D
024	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか？	6	10	1	
025	子どもの思いを十分に受け止めることができているか？	1	13	3	
026	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育をしていますか？	6	9	2	
027	子どもの興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか？	3	10	4	
028	子どもの心が健康に育つため、安心感のある環境づくりに努めていますか？	6	9	2	

【評価】 乳幼児期の子どもの心身の発達の重要さは十分理解し、一人ひとりの思いを受け止めるよう日々努めているという回答が多かった。その中でも「あまりできていない」という回答も少数あったの来期には少数がなくなり全職員が努めることができる環境作りや機会を設けていけるようにしたい。

第3章 「ねらい」及び「内容」

1.保育内容「健康」

	設 問	A	B	C	D
029	一人ひとりの健康状態や発達について把握し、異常に気づくことができますか？	6	10	1	
030	こども園は、子ども一人ひとりと集団全体の健康及び安全の確保に努めなければならないことを理解していますか？	10	7		
031	食前や排泄後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしていますか？	8	8	1	
032	災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害に想定した避難訓練も行なっていますか？	9	6	2	
033	子どもの安全を確保し、避難誘導が適切にできますか？	1	11		

【評価】 担任以外の職員にも必要な事項は共有し、小さな異常にも気づけるようにしていきたい。引き続き感染症等の流行を防ぐべく、日々の手洗いや消毒、うがいなどの習慣も身に付くように援助をし、健康で安全に過ごせるように心がけていく。また職員一人の判断でなく職員間で園児の様子を共有し、連携をとることも引き続き行なっていきたい。

2.保育内容「人間関係」

	設 問	A	B	C	D
034	いろいろな人（高齢者・地域の方）と触れ合うことの素晴らしさを子どもに伝えることができますか？	4	9	4	
035	友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしていますか？	8	8	1	
036	人の命の尊さを教え、他者をいたわり大切にする気持ちを養う保育ができますか？	4	12	1	
037	社会的ルールを正確に理解出来るよう導き、間違いに気づけるように援助をしていますか？	4	13		

【評価】保育の中で人との関わりはとても大切にできている結果となっている。地域の方との交流だけでなく、外部講師との関わりなど喜びを感じながら、マナーを学んで育ってくれればと望んでいる。活動一つひとつの中にも複数のルールがあり、その都度伝える大切さを意識し今後も保育に努めいけるようにしたい。

3.保育内容「環境」

	設 問	A	B	C	D
038	大きな自然、小さな自然、街中の様子などから、まずは保育教諭自身が季節の変化を感じ取る感受性を大事にしていますか？	4	9	2	
039	子どもが自然を観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気付くように援助していますか？	4	10	3	
040	数量や図形などに関心を持つように、生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫した保育をしていますか？	7	8	2	
041	伝統的な年中行事等を保育に取り入れていますか？	8	9		

【評価】保育内容を考える中で自然事象を取り入れる計画が多い1年であった。保育者の意識も高まり、よりいい保育と充実が感じられる評価となっている。一方、「あまりできていない」という回答は、副担任に多かった。一緒にする中で園児が気づける声掛けや提案ができるようになるという反省があったので、今後に活かし職員全体で評価を上げていきたい。

4.保育内容「言葉」

	設 問	A	B	C	D
042	保育教諭自身が豊かで美しい言葉を使用し、思いを込めて会話するように心がけ、人の話を聞く態度を身に付けさせることができますか？	4	9	4	
043	子どもが分からないことを訪ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか？	2	15		
044	行事や体験を通して感動したり発見したりする場を設定し、その後の表現につながる配慮をしていますか？	2	11	4	
045	紙芝居や絵本、手遊びなどを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気付くように心がけていますか？	6	8	3	

【評価】保育者自身が自分の保育を振り返り、ゆったりとした気持ちで子どもと会話をするように意識していきたい。絵本や紙芝居なども豊かで美しい日本語を学べるよう、研究をしていきたい。

5.保育内容「表現」

	設 問	A	B	C	D
046	計画を立て、目標を持って音楽活動を行なっていますか？	2	8	7	
047	音楽活動の中で、子どもの個人差を理解し、能力・適性・興味に応じて、楽しく取り組めるように配慮していますか？	3	10	4	
048	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っていますか？	3	7	7	
049	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気付くように援助していますか？	4	10	3	
050	さまざまな楽器に触れたりして親しみを持たせ、楽器の扱いを正しく子どもに指導できますか？	1	11	5	

【評価】年間を通して、どの学年も年齢に応じた音楽活動を取り入れているが、目標や明確なねらいを意識して、楽器の演奏を楽しんだり身体を動かしたりしながら、今後も保育に取り入れていく。
No.050の評価では正しい楽器の使い方が聞かれています、年3回来園される講師に指導いただけるように機会を設け習得する必要がある。

2. 0歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
051	おむつ交換時は、言葉がけや歌などを口ずさみながら楽しい雰囲気を取り換えるようにしていますか？	6	11		
052	睡眠が十分にとれるように、静かな環境を整えていますか？	7	10		
053	午睡状況(呼吸、顔色、嘔吐、汗)を常に観察するとともに、SIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録していますか？	7	10		
054	家庭からの連絡帳の記入を毎朝見て、睡眠時間、食事、授乳の時間等、必要事項のチェックを行っていますか？	10	7		
055	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせて、無理なく行っていますか？	9	8		
056	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認していますか？	8	9		
057	進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有していますか？	9	8		

【評価】日頃から安全にゆったりとした保育環境を維持できるように、職員配置をゆとりをもって組み、保育に努めている。小さな変化や異常に早く気づき対応できるように、油断することなく今後も取り組んでいきたい。家庭との連絡を密にし、無理なく安心して預けていただけるように努めていく。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

	設 問	A	B	C	D
058	子どもの発達過程やその連続性に踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行わなければならないことを理解していますか？	8	5	4	
059	保育課程に基づいた具体的な指導計画を作成できていますか？	2	11	4	
060	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方等、具体的に指導計画に書き込まれていますか？	2	10	5	
061	入園時期には生活リズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか？	5	10	2	
062	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できますか？	3	9	5	
063	多様な保育需要に対して、地域やこども園の特性を考慮した柔軟な計画が作成できていますか？	3	7	7	

【評価】年齢によっては個の計画を作成しているが、クラス全体の計画を作成するときに園児の様子を想像しながら作成するように意識している。保育計画、教育計画を立てた後の保育の実践が、主担任始動となっているため、副担任も計画書を確認し保育に取り組むことを引き続き努めていけるようにしたい。

第6章 研修と自己評価

	設 問	A	B	C	D
064	保育教諭は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めなければならないことを理解していますか？	12	4	1	
065	研修会等への積極的、計画的参加をする中で、新たな課題と情報収集ができていますか？	4	8	5	
066	あなたは園の保育理念や基本方針を正しく述べることができますか？	3	10	4	
067	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか？	3	12	2	
068	保育教諭としての自分の長所と短所が分かりますか？	8	8	1	
069	周囲の人や来客に対して清潔感を与える対応や身だしなみを実践していますか？	5	12		
070	いつも笑顔で、あいさつや対応ができ、心配りのあるマナーやエチケットを会得し、励行していますか？	4	12	1	
071	規則正しい生活を送り勤務に支障をきたさないよう、自己の健康管理に努めていますか？	6	9	2	
072	保育教諭としての生活、行事をこなし、毎日楽しく勤務していますか？	8	8	1	
073	他の保育教諭等とのコミュニケーションを密に行ない、また相手の意見に耳を傾け相手がどのような思いでいるのか、行動をとったのか考えることができていますか？	5	10	2	

074	職員間において常に報告、連絡、相談を行なうようにしていますか？	10	5	2	
-----	---------------------------------	----	---	---	--

【評価】職員の向上していきたい意識が高まっている結果となっている。自分の保育を省察する時間と意欲を引き続き持ち続け、結果に伴う保育を向上していきたい。年齢ごとに目標はさまざまだが、就学に向け、園児一人ひとりに向けた目標を明確にし援助を今後も心がけていきたい。

第7章 子育て支援

	設 問	A	B	C	D
075	子育ての悩みを安心して話せるように、送迎の際、保護者と会話を交わしたり、連絡帳等で情報を交換したりすることを積極的にしていますか？	6	9	2	
076	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、上司に相談するなどしていますか？	12	4	1	
077	保護者に現在の子どもの状況を分かりやすく伝え、なるべく具体的な事例で楽しさ、喜びが伝わるよう配慮していますか？	8	7	2	
078	一人一人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか？	7	8	2	
079	懇談等を通して、園での様子、家庭での様子を共有していますか？	9	5	3	
080	保護者の子どものプライバシーに留意していますか？	11	6		

【評価】年2回の保護者懇談に加え、日々の生活の中での様子を共有するためにも信頼関係を日頃から築けるよう努め、保護者からの相談ごとにも、誠意を持って対応していけるように環境を整えていくようにしていきたい。

【まとめ】

全職員の意識の統一を心がけ「報告」「連絡」「相談」をこまやかに進めてきた。全園児の様子を共有することで職員間の意識は確実に上がってきている。一方で、計画というところにはまだ統一が難しく、誤差があり評価も低かった。複数で行なう保育は複数で提案し合う大切さや、独断で進めるリスクを理解し、今後の課題として取り組んでいかないといけないと思った。

園児から学ぶこともたくさんある教育、保育の中で職員が精進していかなければならないことを改めて、評価できる機会となりよかった。